若松Challenge

若松活性化アクション！若者定着×地域のにぎわい創出

～若松区と企業が連携したまちづくり～

若松区・若松あつまる会
包括連携協定締結式

令和７年５月２８日

若松あつまる会

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU
若松区役所

わかっぱ

1 若松あつまる会の功績

若松Challenge

■若松あつまる会（令和４年８月設立）

若松の発展を願い、様々な地域振興事業を実施する、
企業・個人・団体の集まり

地元高校生を対象に
「企業見学ツアー」を開催

若松あつまる会の概要

団　体　名	若松あつまる会
会　　長	中野　浩一（中野電話工業㈱　代表取締役社長）
事　務　局	北九州市若松区安瀬57-2（㈱キフネ）
設　　立	令和4年8月
会　員　数	名誉会員18団体、会員131社　（令和7年5月15日現在）
事業内容	若松支援活動（地域振興事業、イベント）、親睦活動

若松の応援団として活躍

2 区の機能強化

Kitakyushu Action!

区役所は市政を支える

「まちの最前線」

令和７年度から

区役所に戦略担当ライン を配置

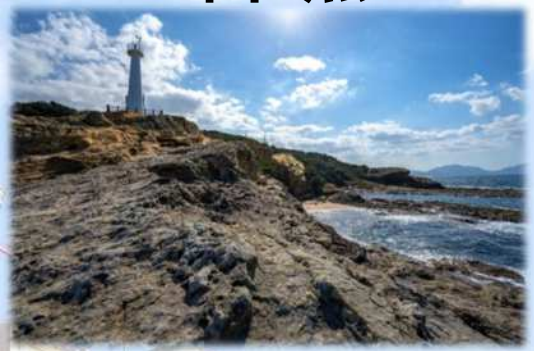
地域の声を市政に生かす

3 若松の高いポテンシャル

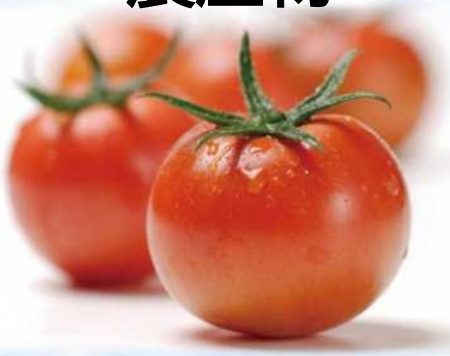
若松Challenge

企業進出

自 然



農産物



魚介類

熱い区民性

4 地域や企業からの声（若松区）

若松Challenge

若松区民の声

- 高齢化が進み、地域の**若者**が少ない
- 地域・伝統行事の**担い手**が不足

企業からの声

- **従業員**が**不足**しており募集をかけても集まらない
- **外国人**労働者の**住居**確保が困難

5 若松区と企業の想いが一致

若松Challenge

■若松あつまる会（令和４年８月結成）

熱い想い

- 若松の発展を願い、地域振興を実施（支援・協賛）
- 会員企業は、２０社　⇒　１４９社（令和7年5月時点）
- 近年、趣旨に賛同する企業が増加⬆

■若松区のまちづくり

まちに活力を

- 誰もが住みたい、住み続けたいと実感できるまち
- 地域やまちの声を丁寧に拾う
- 地域のポテンシャルを最大限活かす

6 若松区民の未来への期待・希望

若松Challenge

若松区と若松あつまる会（企業）が連携したまちづくり

① 若者の人材育成

② 地域のにぎわいづくり

③ 地域課題への対応

7 若松の未来を担う人材を育成

若松Challenge

若松区内の学生を対象に、様々な職業体験を提供

あつまる会と連携

小学生 ～ 高校生 将来

お仕事体験

興味・関心
を植え付け

インターン
（企業の課題解決）

就業、進学時に
定住・定着を意識

地元への
愛着、誇り

8 急速に進むグローバル化（若松区）

若松Challenge

- 外国人居住人口は、近年増加傾向
- 高い外国人居住率 2.5%（若松区） ＞ 市1.9%

若松区（外国人人口）

令和４年3月
約1,000人

令和７年3月
約1,900人　1.9倍

企業は慢性的な
人材不足

外国人
技能実習生
を雇用

居住環境
が不安定

9 地域ストックを活用した新システムを実現

若松Challenge

若松区

企業のニーズ

外国人技能実習生
の居住確保

あつまる会も協力

都市整備局と
模索、検討の末
実現

北九州市

市営住宅の
空き住戸の
有効活用
を検討

▷ 若松区からの相談を契機に、
外国人技能実習生の居住確保を実現

10 外国人との共生モデルづくり

若松Challenge

若松モデル！

福岡県で初！（外国人技能実習生）

市営住宅の上層階を有効活用

（かみのこう）上ノ鴻 団地

（りゅうせい）竜清 団地

※予定戸数：各１～２戸

地域との共生

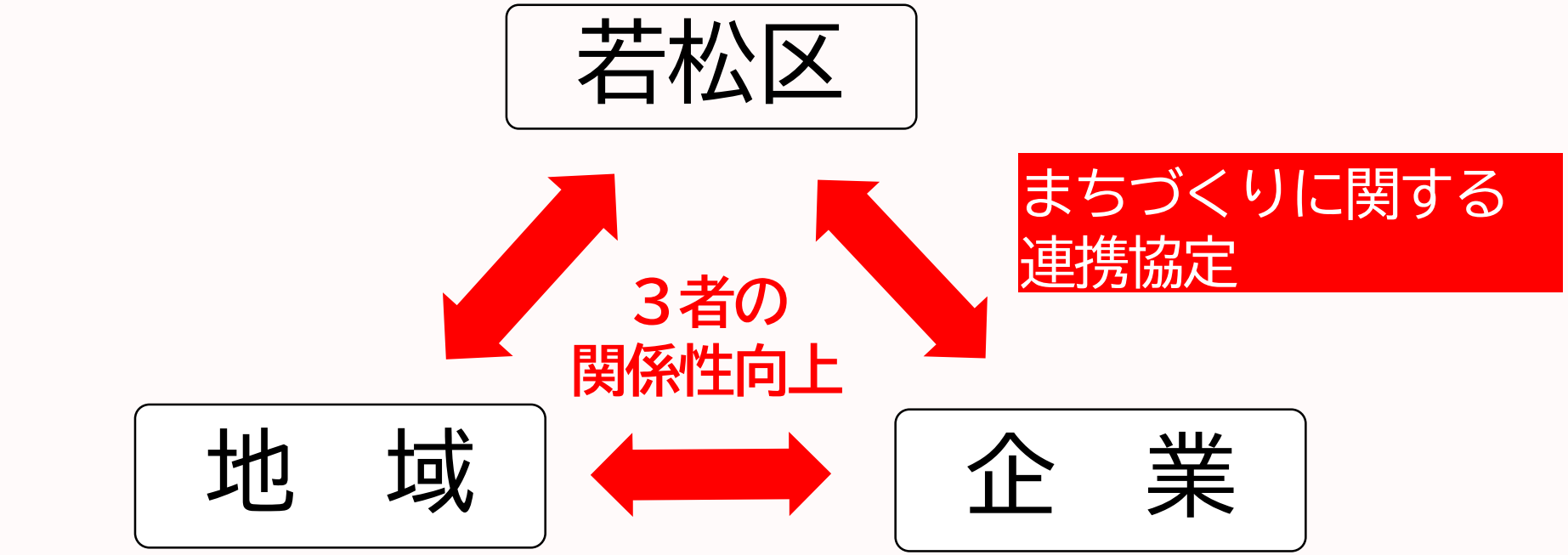
清掃、まつり

・自治会加入、地域活動への参加

11 連携協定による効果

若松Challenge

連携協定により３者の関係性向上、相乗効果が期待できる



・若者の人材育成
・にぎわいづくり
・地域課題の解決

・企業の社会貢献、イメージアップ
・企業の課題も地域で解決（高校生）

12 若松区が目指すべき方向性

若松Challenge

若松プロジェクト

若松活性化、若者定着、
地域のにぎわい創出

包括連携協定締結

１段階

若松区民のニーズが
届きやすくなる

２段階

・区民、企業の意識変化
・新規企業の関心増大
・若松ブランドが強化

３段階

・若松経済の活性化
区民：まちづくりへの参加意識 ⬆up
企業：協力意識 ⬆up

若松の高いポテンシャルを活かす機会が増加

13 包括連携協定

若松Challenge

区の戦略第1弾！